

ひだかの概要



日高町

人口: 12,359人
世帯数: 6,378世帯
面積: 992.11km²



(日高国際スキー場)

〒059-2192

沙流郡日高町門別本町210番地の1
TEL 01456-2-5131 FAX 01456-2-5615
<http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/>

みどころ: 門別競馬場、門別温泉とねっこの湯、日勝峠、沙流川渓谷、日高国際スキー場、日高山脈博物館、沙流川温泉ひだか高原荘

イベント: ひだか樹魂まつり(7月)、門別ししゃも祭り(10月)

特産品: シシャモ、タコ、軟白ネギ、椎茸、アスパラ、いちご、乳製品
パフシュー、バカパカシュー、食用ほおずき

平取町

人口: 5,174人
世帯数: 2,581世帯
面積: 743.09km²



(すずらん群生地)

〒055-0192

沙流郡平取町本町28番地
TEL 01457-2-2221 FAX 01457-2-2277
<http://www.town.biratori.hokkaido.jp>

みどころ: 二風谷アイヌ文化博物館、沙流川歴史館、義経公園と義経神社、アイヌ文化情報センター、二風谷ファミリーランド、すずらん群生地、幌尻岳、ニセウ・エコランド、にぶたに湖、びらとり温泉ゆから

イベント: すずらん鑑賞会(6月)、沙流川まつり(9月)、全道PKグランプリ(2月)

特産品: びらとり野菜(トマト、キュウリ、長いも)、びらとり和牛、びらとり黒豚
トマトジュース(ニシパの恋人)、木彫品(アイヌ民芸品)
寒締めホウレン草

新冠町

人口: 5,671人
世帯数: 2,742世帯
面積: 585.81km²



(サラブレッド大壁画)

〒059-2492

新冠郡新冠町字北星町3番地の2
TEL 0146-47-2111 FAX 0146-47-2600
<http://www.niikappu.jp/>

みどころ: 太陽の森デイマシオ美術館、優駿記念館
レコード館、新冠温泉レコードの湯、ホロシリ乗馬クラブ
判官館森林公園、サラブレッド銀座

イベント: パートナーシップコンサート(2月)、ふるさと祭り(7月)

特産品: 新冠駒、ピーマン、アスパラ、日高昆布、節婦鮭トバ、ホロシリ牛乳、
チーズ、ぼっちゃんかぼちゃグラタン

● CONTENTS ●

ひだかのすがた	1
ひだかの産業	5
ひだかのくらし	13
ひだかの教育	17
道央広域連携地域政策展開方針	19
北海道遺産	21
ひだかの概要	22

新ひだか町

人口: 22,911人
世帯数: 11,735世帯
面積: 1,147.75km²



(二十間道路桜並木)

〒056-8650

日高郡新ひだか町静内御幸町3丁目2-50
TEL 0146-43-2111 FAX 0146-43-3900
<http://www.shinhidaka-hokkaido.jp/>

みどころ: 真歌公園、龍雲閣、二十間道路桜並木、北海道市場、
ライディングヒルズ静内、三石海浜公園、蓬萊山公園

イベント: しずない桜まつり(5月上旬)、みついし蓬萊山まつり(7月第1日曜日)、
新ひだか夏まつり(7月下旬・8月中旬)、
二十間道路ハーフマラソン大会(9月)

特産品: 太陽の瞳(ミニトマト)、みついし花だより(デルフィニウム)、はちみつ、
日高昆布、三石羊羹、みついし牛、三石こんぶ焼酎、ホエー豚

浦河町

人口: 12,603人
世帯数: 6,670世帯
面積: 694.26km²

〒057-8511
浦河郡浦河町築地1丁目3番1号
TEL 0146-22-2311 FAX 0146-22-1240
<http://www.town.urakawa.hokkaido.jp/>



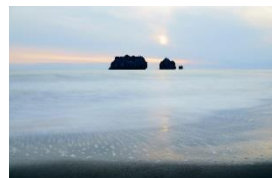
(優駿ビレッジ「AERU」のホースレッキング)

みどころ: うらかわ優駿ビレッジ「AERU」、JRA日高育成総合施設
馬事資料館、優駿さくらロード、浦河町乗馬公園、赤心社記念館
イベント: うらかわ桜まつり(5月)、うらかわ馬フェスタ(7月下旬)、
うらかわ港まつり(8月)、産業まつり(9月)
特産品: 夏いちご、日高昆布、新巻鮭(銀聖)、銀聖スモークサーモン、味たこ、
いくら、たらこ、清酒「大本命五冠神讃」、揚げかまぼこ、昆布ぎょうざ

様似町

人口: 4,416人
世帯数: 2,223世帯
面積: 364.30km²

〒058-8501
様似郡様似町大通1丁目21番地
TEL 0146-36-2111 FAX 0146-36-2662
<http://www.samani.jp/>
<http://www.apoi-geopark.jp/>



(第4回さまに写真コンテスト特別賞)
「彼方に浮か」

みどころ: アポイ岳(ユネスコ世界ジオパークに認定)、等澗院、親子岩ふれ愛ビーチ
イベント: さまにウニまつり(5月)、アポイの火まつり(8月)、
ジオパーク全国大会(10月)
特産品: 日高昆布、冬島昆布、昆布しょうゆ、銀聖、鮭の山漬、いくら、毛ガニ
夏秋どりいちご、真つぶ、マツカワ(王蝶)、ひだか昆布しょう油チップス、
タコマンマのかまぼこ、おやき、EMAWRI(スパークリングワイン)

えりも町

人口: 4,839人
世帯数: 2,148世帯
面積: 283.93km²

〒058-0292
幌泉郡えりも町字本町206番地
TEL 01466-2-2111 FAX 01466-2-3367
<http://www.town.erimo.lg.jp/>



(豊似湖)

みどころ: 襟裳(えりも)岬、風の館、百人浜、豊似湖、黄金道路
イベント: えりも「うに祭り」(4月)、えりもの灯台まつり(8月)、
えりも海と山の幸フェスティバル(10月)
特産品: 日高昆布、サケ(銀聖)、マツカワ(王蝶)、毛がに(風極)、真つぶ、
うに、えりも巻(昆布巻)、魚々紫(とむらさき/醬油)
根こんぶ茶、えりもビーフ(えりも短角牛)

●日高振興局の沿革

日高地域は、夏は爽涼、冬は温暖で積雪も少なく、海や山の幸が豊富なこともあって、遠かなる昔から先住の民としてのアイヌの人たちが住んでいた。

一五九〇年(天正十八年)
松前藩が蝦夷島主となる。

一五九九年(慶長四年)
場所制度が定められ、日高は東蝦夷地として漁場が開かれる。

一七九九年(寛政十一年)
幕府は、ロシアに対する警備から、蝦夷地を直轄地とする。(一八二一年)一八五四年の間は松前藩に復讐)

一八六九年(明治二年)
北海道開拓使が設置され、当地方は日高国と称した。

一八七二年(明治五年)
浦河支庁が設置される。

一八七四年(明治七年)
浦河支庁が廃されて、札幌本庁の直轄となる。

一八七九年(明治十二年)
郡区町村編成により、浦河に郡役所を設ける。

一八八二年(明治十五年)
開拓使が廃されて、函館・札幌・根室の3県が置かれる。日高は札幌県に所属。

一八八六年(明治十九年)
北海道庁が設置される。(翌年、浦河郡役所の所管が現在の7郡制に変更される。)

一八九七年(明治三〇年)
浦河郡役所を廃し、浦河支庁が設置される。

一九三三年(昭和七年)
浦河支庁を日高支庁と改称する。

二〇一〇年四月(平成二十二年)
北海道総合振興局及び振興局の設置に関する条例の施行に伴い日高振興局を設置。